

閉鎖・廃業等により資産がゼロになる場合（償却資産申告書）

受付印

令和 年 月 日

令和 年度

償却資産申告書(償却資産課税台帳)

第 二 二 八 〇 号

*所有者コード

2	2	2	8	2	3	2	8												
---	---	---	---	---	---	---	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

1 (ふりがな) 住所 (又は納税通知書送達先)	371 前橋	3 (個人番号又は法人番号)	4 事業種別(資本金等)	5 事業開始年	6 この申告に回答する者の及び氏名	7 税理士等の氏名(電話)	13 税務会計上の償却方法 定率法・定額法	14 青色申告 有・無
-----------------------------	--------	----------------	--------------	---------	-------------------	---------------	--------------------------	----------------

資産の種類	取得価額			計((イ)-(ロ)+(ハ)) (ニ)
	前年前に取得したもの(イ)	前年中に減少したもの(ロ)	前年中に取得したもの(ハ)	
	十億	百万	千円	円
1 構築物	3,500	0	0	0
2 機械及び装置	2,500	0	0	0
3 船舶				
4 航空機				
5 車両及び運搬具				
6 工具、器具及び備品	100	0	0	0
7 合計	6,100	0	0	0

資産の種類	評価額 (ホ)	*決定価格(ヘ)	*課税標準額(ト)
	十億	百万	千円
構築物			
及び備品			
7 合計			

15 市(区)町村内における事業所等資産の所在地

16 借主の名称等
借用資産 (有・無)

17 事業所用家屋の所有区分 自己所有 ・ 借家

18 備考(添付書類等) - 該当する番号に○印を付けてください-

1. 資産の増減あり 2. 資産の増減なし
 3. 該当資産なし 4. 修正あり(耐用年数等)
 5. **閉鎖・廃業・解散・転出等** (R2年 8月31日)
 6. 住所変更(旧住所)
 7. 名称変更(旧名称)

明細書の減少資産の取得価額の合計を資産の種類ごとに記載してください。

前年前に取得したものに記載された数から前年中に減少したものに記載した数を除いた計を記載してください。

前年度に申告した資産が資産の種類ごとに合計が記載されています。

閉鎖・廃業等当てはまるものに○をつけ、年月日を記載してください。

閉鎖・廃業等により資産がゼロになる場合（種類別明細書）

令和 年度		種類別明細書(増加資産・全資産用)						所有者名		前橋市			
所有者コード 22282328								前橋市		前 日			
0092								前橋市		前 日			
資産の 種類 コード	資産の 名称等	数量	取得年月		取得価額	耐用 年数	減価残 存率	価 額	課税標準の特例		課税標準額	増加 事由	摘 要
			年 号	年 月					率	コード			
1	舗装工事	1	11	27	6	3,000,000	10						R2.8月 売却
1	フェンス	1	11	27	6	400,000	10						R2.8月 売却
1	看板	1	11	28	3	100,000	10						R2.8月 売却
2	旋盤加工装置	1	11	27	9	2,500,000	17						R2.8月 売却
6	パソコン	1	11	27	6	100,000	4						R2.8月 売却
		小 計											

減少資産に線を引いてください。

いつ除却になったか、除却になった理由等を記載してください。

第二十六号様式別表一（提出用）

注意「増加事由」の欄は、1新品取得、2中古品取得、3移動による受入れ、4その他のいずれかに○印を付けてください。